

江田島市 議会だより

江田島市議会

第76号

令和5年12月1日

令和4年度

決算!



SEA TO SUMMIT
補助金
480万円



定住促進通学費支援事業
2,200万5,740円



家庭一般廃棄物収集
運搬事業
2億 2,467万2,369円



集中放流負担金
102万円



病児・病後児保育事業
295万7,000円



情報政策事業
2億 2,301万7,877円

LINE
@etajimacity



大柿高等学校
サポート事業
1,046万531円

江田島市 決算審査

令和4年度の事業を総括エック



一般会計

歳出 **153億8,589万円**

歳入 **159億1,692万円**

令和4年度の決算認定議案12案を9月定例会において決算審査特別委員会に付託しました。
決算審査特別委員会は常任委員会の所管で総務文教分科会・産業厚生分科会の2分科会に分割し、4日間をわたりそれぞれ慎重に審査しました。決算の認定にあたり、執行部に対し付した意見を一部ご紹介します。

特殊詐欺を未然に防ぐ

高齢者のインターネット利用や、一人で暮らす高齢者が増えていることから、盗難や詐欺の対象となりやすくなっている。啓発活動はもとより、警察との連携を密にし被害者の救済や犯罪の早期発見に努めていきたい。

また、迷惑電話防止機器購入費補助事業については、

設置件数が66件と多いとはいえないことから、引き続き周知活動をし詐欺被害の未然防止に努めることを要望した。



消費者行政活性化事業 **70万3,960円**

島に1つの高等学校 存続へ向けて

令和5年度の新入生34名は、全て市内中学出身者である。令和6年以降、入学定員の40名を市内中学出身者で確保するためには、3割以上が大柿高等学校を志望する必要がある。

大柿高等学校の存続には、進学率の向上が必要と考えられる。さらなる魅力増加の取り組みが必要なので、今後も引き続き支援の継続を求めた。

子どもたちの学びを守るために

就学援助奨励金は、経済的な理由で就学が困難な家庭に学校に必要な学用品費や給食費の援助をするもので、子どもたちの学びのセーフティネットになる事業である。

子どもたちの学びに支障が出ないように、注視することを求めた。

小学校就学援助奨励事業 **1,076万8,208円**
中学校就学援助奨励事業 **877万2,201円**

大柿高等学校サポート事業 **1,046万531円**

島からの通学を 持続可能に

市内発着の公共交通機関の通学定期購入費の補助は、子育て世代の負担軽減、公共交通利用促進の観点からも今後も継続すべき事業と考える。

人口減少により定期補助の利用者は減少しているが、子育て支援や移住定住促進には大きなセールスポイントであるため、今後も継続して事業を行えるように財源確保を求めた。

行政サービスの DX化へ向けて

行政サービスのDX化の中で、江田島市LINE公式アカウントは市民と市役所とのコミュニケーション強化に期待が持てるツールであるが、友だち数(利用者)が思いのほか増えていない。

高齢者から若者まで幅広い市民に対して利便性を知らせ、利用促進に努めるよう広報活動に取り組むことを提案した。

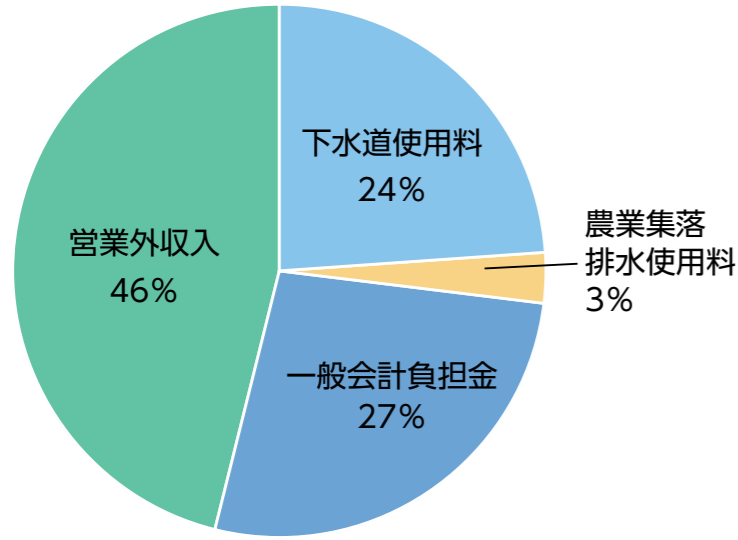
情報政策事業 **2億2,301万7,877円**

友だち追加はこちらから!



LINE ID : @etajimacity

下水道事業収益



将来的にますます厳しい経営が予測されるが、どのように運営維持するか、経営健全化に向けた下水道事業を計画するよう求めた。

下水道事業においては、令和3年10月使用分から下水道使用料の値上げをしたばかりだが、一般会計からの繰入金に依存する厳しい経営状況となっている。今後、さらなる人口減少が予測され、使用料収入の増加が見込みにくい。

水道事業は、令和5年度から広島県水道広域連合企業団での事業となった。この統合のメリットとなる国の交付金をしっかり活用し、迅速かつ適宜適切に施設や水道管路の更新維持管理を進め、江田島市民の生活にも還元されるよう尽力するよう求めた。

市民の大切なライフライン 水道事業・下水道事業

家庭一般廃棄物収集運搬事業
2億2,467万2,369円



後を絶たないごみの 不法投棄に対して

不法投棄が後を絶たないが、監視カメラの設置により、不法投棄者への指導やごみ出しマナーの向上など効果が見られる。環境を守るため、今後も監視カメラの設置を推進することを提案した。

また、ごみの分別ができていないと、リレーセンサー等の環境施設の機械故障を招く可能性が高いので、市民みなで余計な出費を防げるように、ごみ分別マナーの向上の啓発を求めた。

より効果のある 水産業対策にするために

水産業を取り巻く厳しい状況を克服するために、市では、水産業振興対策事業として、集中放流事業に取り組んでいる。この決算質疑に際し、放流魚種や数量、事業実施箇所は示されたものの、漁獲高の変化など事業効果の確認ができていなかった。

水産事業者のためにも、事業効果を確認しつつ事業を推進し、より良い水産業振興対策になるように求めた。

集中放流負担金
102万円
水産資源増大対策事業補助金
587万7,000円



観光振興事業は費用対効果を期待

「SEA TO SUMMIT」や「えたじまものがたり博覧会」の事業費は費用対効果が得られていないと考えられる。観光事業は、地域PRや移住促進にも大きく貢献する部分はあるが、市民にも理解を得られるように、執行額に見合う事業になるよう求めた。

また、「えたじまものがたり博覧会」は、地域を盛り上げるためのコンテンツ作りが目的である。各事業者が観光事業として確立できるような仕組みを考えて事業を進めることを求めた。

江田島SEA TO SUMMIT補助金
480万円



観光戦略チーム支援業務委託料
1,127万9,000円



子育て世代の支援策 もっと利用促進を

子育て環境の整備事業として令和3年度より始めたファミリーサポートセンター事業と病児・病後児保育事業それぞれの利用登録者数は前年度より増加しているものの、想定より登録者数が少ない。

子育て世代がいざというときに困らないように、また、支援が行き届くように、再度、周知活動を促進するよう要望した。

病児・病後児保育事業
295万7,000円
ファミリーサポートセンター研修受講費補助金
12万5,000円



将来の江田島市を見据えて

決算審査を終えて

経常収支比率は97・1%

と令和3年度の91・2%から大きく上昇しています。経常収支比率とは簡単に言うと必要最低限の費用の比率です。数値が高くなると、江田島市独自の政策に使えるお金が減り、財政の硬直化が起こります。



公債費負担比率は17・5%

と高い数値になっています。公債費は地方債の元利償還金等で義務的な経費です。一般的には15%が警戒ライン、20%が危険ラインとされており、公債費負担比率が高いと、財政構造が硬直化し、新たな事業の対応ができなくなります。



江田島市の将来のために、財政運

営の健全化を課題として、数値の改善に取り組むよう要望しています。議会でも執行部の事業をしっかりと審査して、市民の生活を守り、持続可能な江田島市を目指します。

決算審査特別委員会

委員長から一言



平川委員長

決算審査特別委員会において、令和4年度一般会計、特別会計および企業会計決算について、適正にして公平かつ能率的な財政運営が行われたか慎重に審査しました。今後も厳しい財政運営が予想されますので、常に費用対効果を意識しながら地域住民の福祉の増進のために運営していただくよう、25項目の意見を付けたうえで、可決および認定することに決しました。

飛渡瀬交流プラザの完成と小古江集会所への名称変更に伴う条例改正が行われました。

議案第47号 江田島市民センター等設置及び管理条例の一部を改正する条例案について

江田島市公共施設のあり方に関する基本方針により、旧小学校区単位にまちづくりや地域活動の拠点となる交流プラザを設置します。また、「小古江老人集会所」を「小古江集会所」へと名称を変更するものです。



完成した飛渡瀬交流プラザ

旅館業法が改正されたことに伴い江田島市手数料条例の一部が改正されました。

議案第49号 江田島市手数料条例の一部を改正する条例案

旅館業の事業を譲り受けたものは、営業許可申請(手数料2万2000円)を不要とし、より簡易な営業者の地位の承認申請(手数料7400円)を行うこととするものです。

Point 2

Point 1

議案・・・20件
同意・・・9件
報告・・・5件
諮問・・・1件

議案・・・12件
選挙・・・4件

この中から4つを詳しく解説!

令和5年9月 定例会

会期：9/7・8

令和5年10月 臨時会

会期：10/31

全ての議案名は、市ホームページでご覧いただけます。



定例会



臨時会

Point 3

一般会計補正予算を可決しました。

議案第52号 令和5年度江田島市一般会計補正予算（第4号）

主なものは、公共施設再編整備等に係る引越し費用や、国・県補助金の追加交付による工事費等で、304万8000円の増額補正です。

こんな質問が出ました

Q 職員給与費の減額補正（5069万2000円）が大きい理由は。

A 職員給与費の全体的な減額理由としては、早期退職者が多かったことが最大の要因です。こうしたことから、社会人枠を活用したり、応募年齢を引き上げたりすることで採用枠を広げ、職員の確保に努めます。



公務員の中途退職が全国的にも増加しており、若者を中心に転職に関する意識の変化が見られる

Q 教育振興費の学校教育振興一般事業費で、仮想ブラウザ環境構築業務委託料（1830万円）の詳細を。

A 仮想ブラウザというのは、インターネットの閲覧ソフトのことで、教員用のインターネット接続を安全にするためのシステム構築です。現在、各校にインターネット接続用のパソコンを5台ずつ配置してありますが、教員個々のパソコンでは情報収集ができませんでした。そこで、全ての教員のパソコンからインターネットアクセスを容易に、かつ安全に行えるようにするものです。



学校現場での情報収集が容易に行えるように

Q 農業振興費の施設園芸エネルギー転換事業補助金（650万円）とは具体的に何か。

A 広島県の補助事業で、エネルギーコストの上昇に対する支援を行うものです。

ヒートポンプなどの省エネ機器への転換や、設備関係の環境負荷を下げるというような、エネルギー関係の設備に対する助成事業です。



県の補助事業に、4件の要望を計上

Point 4

正副議長の選挙が行われました。

選挙第3号 議長の選挙
選挙第4号 副議長の選挙

吉野仲康議長および平川博之副議長の退任に伴う選挙が行われました。投票の結果、酒永光志議員が議長に、上松英邦議員が副議長に就任しました。

*詳しくは、19・20ページをご覧ください。

令和5年9月定例会および10月臨時会で同意・可決された議案

- 農業委員会の委員の任命につき同意を求めることについて
- 人権擁護委員候補者の推薦について
- 江田島市市民センター等設置及び管理条例の一部を改正する条例案について
- 江田島市集会所設置及び管理条例の一部を改正する条例案について
- 江田島市手数料条例の一部を改正する条例案について
- 江田島市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例案について
- 江田島市火災予防条例の一部を改正する条例案について
- 令和5年度江田島市一般会計補正予算（第4号）
- 令和5年度江田島市介護保険（保険事業勘定）特別会計補正予算（第1号）
- 令和5年度江田島市下水道事業会計補正予算（第1号）
- 令和4年度江田島市一般会計歳入歳出決算の認定について
- 令和4年度江田島市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 他特別会計歳入歳出決算の認定について 8件
- 令和4年度江田島市水道事業会計決算の認定について
- 令和4年度江田島市下水道事業会計決算の認定について



古居 俊彦

ごみステーションの管理は誰に？

答 自治会へお願いしており、環境美化と円滑なごみ収集に努めている



市民生活部長「ごみ出しをする方が、自分の住んでいる最寄りのごみステーションでなければ出してはならない」という決まりはありま

問 道路沿いのごみステーションに、その自治会と関係のない通り掛かりの者や、通勤等で通る者が、頻繁にごみ出しをしていくことについてはどう考えるか。

市長「自治会において、ごみ出しの立ち会いによるマナー向上のための啓発や、収集日を守られていないごみの分別、清掃などを行っており、環境美化と円滑なごみの収集が行われております。新規アパート建設の情報があった場合には、自治会に情報を提供するとともに、設置について協議を行うようにしています。」

問 ごみステーションの数はどれくらいあるか。
市長「ごみステーションは、市所有の土地や個人の土地に設置されており、市内に423カ所あります。」

問 管理は誰が行っているのか。
せん。しかし、管理する自治会からすると、「なぜ、自治会員以外の者のごみを受けなければならぬのか」ということになりまして、ごみを出される方には、「管理されている自治会の立場で、考えていただきたい」と思っております。

おわりに ごみ問題は、日常に直結していることだけに重要な問題である。自治会においても維持管理に協力するつもりではあるが、自治会そのものも昨今高齢化して疲弊している。また、自治会の問題は、山積している。自治会の過度の負担にならないように、市も関わっていただきたいところである。収集については、人口が減ることによって適宜見直しながら、環境美化に努め、市民の利便性を損なわないように、今後とも市の対応をお願いする。



上本 雄一郎

瀬戸内の多島美を楽しめるよう陀峯山の整備を！

答 来年度以降、作成された計画を基に山頂周辺の整備を進めるとともに、林道の維持管理に努める



問 「瀬戸内の穏やかな海に抱かれた豊かな自然」、そう感じられる場所が島にはたくさんある。陀峯山もその一つであり、江田島六峰中、唯一、車でほぼ頂上まで上がれる景勝地である。山頂の眺望確保や林道の維持管理にどのように取り組むのか。
市長「陀峯山山頂は、市全体を見渡せる素晴らしい眺望を有し、車で到達できます。しかし、現在は草木が茂り、足元の視界がふさがれるなど、眺望を楽しめない状況です。これを改善するため、今年度、陀峯山整備事業計画を作成します。来年度以降、作成された計画を基に、山頂周辺の整備を進め、素晴らしい眺望を確保したいと考えます。また、林道の維持管理は、市シルバー人材センターに除草等業務を委託し、山頂へのルートである入野線、

おわりに 天狗岩、陀峯山山頂、釣附海岸へと至る道は、歩く人も、自転車の人も、車の人も島の豊かな自然環境を楽しめるルートである。その中間地点たる山頂の和式トイレについては、従来、先輩議員からも洋式への改修が強く望まれている。昨年度末、新たな「観光立国推進基本計画」が閣議決定され、「地方誘客促進」等に特に留意し、観光政策を推進することである。今後とも国や県の動向に目を配りながら、島の「おもてなし環境」の充実を進めるよう求める。



島全体を見渡せるが山口方面の眺望に課題あり



灘尾先生揮毫の碑「陀峯」。周辺の維持管理が課題



市の考えを問う

一般質問

質問者 7人

- 1 岡野 数正 市民の声を反映した第3次江田島市総合計画に！
- 2 古居 俊彦 ごみステーションの管理は誰に？
- 3 上本 雄一郎 瀬戸内の多島美を楽しめるよう陀峯山の整備を！
- 4 宮下 成美 こども基本法の制定をきっかけに一步進んだ子育て支援を！
- 5 平本 美幸 江田島市の子育て支援、さらなる拡充を！！
- 6 美濃 英俊 適切な引き継ぎで、問題点や課題の解決を！
- 7 筧本 語 成年後見制度の本市の取り組みは？

QRコードを読み取ると録画映像が視聴できます。



岡野 数正

市民の声を反映した第3次江田島市総合計画に！

答 市民アンケートなどさまざまな方法で市民の参画をはかる



問 令和7年から第3次総合計画が始まるとうしている。第2次総合計画の検証と評価を適切に行い、さらには多様な市民の意向調査を踏まえた上で、第3次総合計画を策定すべきと考えるが、どのように取り組むのか。
市長「令和5年度で第2次総合計画の検証や各種データの整理、市民アンケートやワークショップ、ヒアリング等による市民意見の把握、有識者からなる審議会で基本構想をまとめます。基本構想案については、機会を捉えながら、市民や議員の皆さまに情報提供させていただきつつ、審議会の答申をいただいた上で、令和6年2月議会に提案します。」

問 これまでの市民満足度調査ではアンケート調査回答率が33%と低い。郵送だけではなくインターネットの活用も検討してはどうか。
企画部長「市民の声を反映するには、もっと回答率の向上をはかる必要があります。インターネットでの回答

おわりに 10年先の江田島市を描くためには、市民、執行部、審議会、そして市民の代表たる市議会が一緒になって計画策定に取り組むことが重要と考える。今後、議会が積極的に関わるための具体的方策の議論を進めたい。



江田島市総合計画



適切な引き継ぎで、問題点や課題の解決を！

答 事務引継書を作成し、引き継ぎをしている



企画部長 インタビュー記事の重要性・必要性は私も同じ考えですので、担当職員が記事の更新に取り組み時間が確保できるように、部内の業務の調整をはかっていきたいと考えています。

問 失礼ながら、各課の新部長にしっかりと引き継がれているか確認の意図で質問する。まず、企画部だが、移住定住ポータルサイト「hodo hodo」への定期的な記事追加のお願いについて今後どのようにお考えか。

市長 このたびの部長級職員の仕事異動に際しても、前任者は、各課が担当する事業の概要、懸案事項、課題等を整理した事務引継書を作成し、令和5年4月4日までに、後任者への事務引き継ぎをしています。

問 本年度は、教育長、総務部長、企画部長、産業部長、土木建築部長と執行部の幹部が5名も代わったが、来年度予算を考える時期を迎えるに当たり、前任者から継続される問題点や課題など、引き継ぎはどのように行われたのか。

問 土木建築部長に伺う。「江田島市公園等管理活用計画」は元々、令和4年度の終わりに計画の見直し予定だが、どうなっているのか。

土木建築部長 災害復旧工事を優先したため、中間年に至るまで、計画に基づく動きはありませんでした。そのため、令和4年度から中間の見直しを行わずに、当初の計画に基づいて取り組みを再開しています。

おわりに

その他、教育長に文化財や戦争遺跡をはじめふるさとの歴史に関わるものに対する今後の対応や考えを伺い、産業部長にイノベーション戦略の考えと働き手確保の事業について前向きに検討いただけるか質問をした。お2人にも、前向きな答弁をいただいた。



こども基本法の制定をきっかけに一步進んだ子育て支援を！

答 財源状況にも目を配りながら、可能な限りの子育て支援につなげる施策を検討する



問 こども基本法に基づいた意識啓発が必要と考えるがどうか。

福祉保健部長 少子化問題は、今の社会全体の構造や意識を変えることが必要である。国の「こども未来戦略」の中でもいわれており、今後、国から発表される「こども大綱」を参考にしながら、検討していきます。

問 こども基本法第11条には、子どもに関わる計画や施策を策定、実行する際には、子どもたちや子育て当事者の意見を反映する必要な措置を行うとあるが、どのような方法を考えているか。

福祉保健部長 子どもに関する計画などは、子どもや保護者の方などの声をしっかりと聞き、紙のアンケートだけでなく、デジタル技術の活用も検討していきます。

問 市こども計画策定時には、子どもたちを対象にしたワークショップや、若者、子育て世代とのディスカッションなどできる限り行っているがどうか。

おわりに 国全体の急速な少子化等を背景として令和5年4月1日より、こども基本法が制定された。江田島市の人口や出生率は急速に減少しており、将来危機的な状況が予測されることから、今よりも人口の減少スピードを緩めていき、出生率を少しでも向上させる必要があると考えられている。

こども基本法6つの理念



*こども家庭庁より引用

福祉保健部長 こども基本法の理念に基づいて、子どもの声を聞く機会を検討します。

問 財源の議論など課題はあるが、現在市が推進している子育て支援策の、一步進んだ展開が必要と考えるがどうか。

福祉保健部長 全体的な財源の状況にも目を配りながら可能な限りの子育て支援を検討します。



成年後見制度の本市の取り組みは？

答 取り組みのさらなる充実をはかり、認知症の方や障害者の方が安心して暮らせるまちづくりを進める



問 成年後見制度の利用促進に向け、今後本市はどのような取り組みをしていくのか。

市長 本市での取り組みとしては、二つあります。一つ目は「制度の広報・周知」です。出前講座や研修会の実施、パンフレット作成により、成年後見に関する相談支援や制度の周知を行っています。二つ目は「制度の利用促進に関する取り組み」です。申し立てができる配偶者や4親等内の親族がいない場合の「市長申立て」の活用や、費用の負担が困難な場合に、制度の利用に必要な費用を市が助成することにより、制度の利用促進に関する取り組みを行っています。さらには、江田島市社会福祉協議会の「権利擁護センターえたじま」が実施している法人後見や「福祉サービス利用援助事業かけはし」による支援など、市社会福祉協議会との連携をした取り組みも行っていきます。

問 これまで成年後見制度について、本市はどのように取り組んできたのか。

問 「妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援」のための「ひろしま版ネウボラ」の導入は、いつなのか。

福祉保健部長 人材不足により現在実施できていないが、令和6年度は準備期間とし、令和7年度から導入し、実施していきます。

福祉保健部長 医療費助成を高校生までに拡充することとは、子育て家庭への負担軽減がはかられ、支援につながります。財政的な確保も含め、令和6年度からの実施を検討しています。

問 通学定期支援制度の財源として「地方創生交付金」の活用はできないのか。

企画部長 活用はしていないが、子育て世代の負担軽減をはかるため、市の財政状況や有利な支援制度の有無などを見極めつつ、通学定期支援制度のさらなる充実を検討しています。

実を検討します。
問 本市の環境の良さの中で安心して子育てができる環境づくりへの取り組みは。

市長 今後も子育て世代を取り巻く環境のニーズの変化を的確に捉え、地域の中で安心して子育てができるよう取り組んでいきます。

共生社会におけるトイレの環境整備

問 利用者の皆さまが快適よう、トイレの洋式化等整備が必要ではないのか。

総務部長 二〇二二年配の方や足腰の不自由な方等、全ての方々が快適に利用していただける環境を整えるため、順に整備を進めていきます。

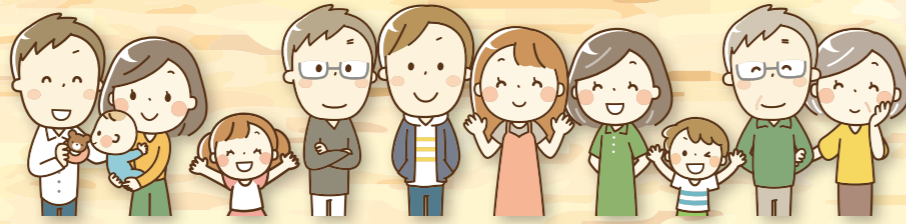


市民に優しい取り組みを！

※「ネウボラ」とはフィンランド語で「アドバイザー」の場所。フィンランドで始まった出産・育児制度、またはその施設を指します。



市民懇談会を開催！



7月23日、25日～27日にかけて、市内4会場で市民懇談会を開催しました。参加者は54名でした。ご参加いただき、本当にありがとうございました。テーブルごとの意見交換会では、意見や要望などを付箋に書き出していただき、その中でテーマを決めて、意見交換を行いました。一部とはなりますが、皆さんの声を紹介します。

人口減少への対策は

- ・住み続けることが可能なまちづくりを進めてほしい。
- ・移住者支援と定着率の向上をはからなければならない。
- ・若者や移住者への魅力的なまちづくりとなる施策が必要。

空き家への対応は

- ・空き家の増加は防犯上危険であることから適切な対応を望む。
- ・持ち主が分からず倒壊の危険のある家屋があり不安。
- ・空き家に対する補助金の情報を分かりやすく教えてほしい。

有効なイノシシ対策を

- ・イノシシその他の害獣被害への対策をしっかりとしてほしい。
- ・空き家が増え耕作放棄地が増えることでイノシシ被害が大きくなっている。
- ・農地だけでなく住宅地に出没し、安心して生活できない。



インフラ整備の推進を

- ・道路の老朽化が進み、維持管理が追い付いていない。
- ・水路が土砂や枯れ葉などで詰まっている箇所が多い。
- ・災害を未然に防ぐためにもしっかりと対策をしてほしい。

充実した教育・子育て環境を

- ・子どもたちがのびのびと遊べる遊具のある公園がほしい。
- ・学校活動における熱中症対策には万全をはかってほしい。
- ・放課後児童クラブの土曜日開所や利用時間の延長を、中町以外でもしてほしい。

地域の課題への対応は

- ・自治会のメンバー不足や民生委員のなり手不足で運営が困難。
- ・海岸や河川清掃の問題。
- ・交通手段の改善をしてほしい。
- ・ごみ出しマナーが悪くて困る。



大柿町小古江
たけもと まさとし
竹本 政俊さん

これまで知らず、初めて参加しました。市民懇談会での意見を委員会で審議し、重要な意見は市に要望・提言する議会の仕組みをつくってほしいです。

市民の意見を議会から
市政に反映を



能美町鹿川
ふじわら ようこ
藤原 陽子さん

公園の整備、
荒れた土地の解消を
子どもたちが屋外で遊べるよう遊具のある公園の整備や、まちなかからイノシシの潜み場がなくなるよう草や木が生い茂る区画の解消に努めてほしい。



沖美町岡大王
みかみ しんじ
三上 眞治さん

移住定住対策の充実を！
江田島市の活性化のためには、人口対策が一番だと思います。若い人が自然豊かなこの地域を好きになり、移住先として選んでもらえる魅力的な取り組みをしっかりと進めてほしいです。



江田島町中央
みかみ みか
三上 美佳さん

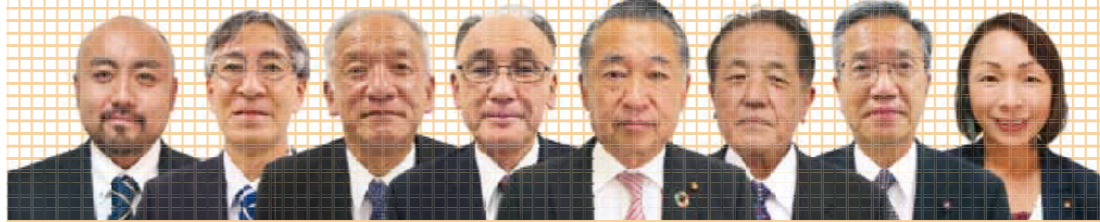
えっ！ 私、場違いなところに来た？
初めて参加しました。若い人や女性もいるのかと思っていましたが、ほとんどが自治会長さんだったのでビックリ。
子育て世代や女性を対象にした報告会もあればいいなあ。



参加者に
インタビュー

総務文教常任委員会

総務部、企画部、危機管理監、会計課、議会事務局、監査委員、選挙管理委員会、公平委員会、固定資産評価審査委員会、消防および教育委員会の所管に関する事務ならびに他の委員会に属さない事務



宮下委員 古居委員 浜西委員 上松副委員長 岡野委員長 山本委員 酒永委員 平本委員

主な活動内容

- 7月5日（水）旧ユウホウ紡績工場跡地現地調査についての意見集約
- 8月2日（水）不登校スペシアルサポートルーム現地視察
- 9月14日（木）調査事項「いじめと不登校」についての調査報告のまとめ
- 10月11日（水）報告書の内容確認
 - ・ 所管事務調査報告書
 - ・ 決算審査特別委員会総務文教分科会報告書

調査報告概要

不登校

スペシアルサポートルーム

現在の目的

全国的に不登校やいじめの認知件数が急速に増加しており、本市においても増加傾向にあることから、不登校の生徒をサポートする環境を整えた市内中学校を視察し、現状の確認を調査の目的とする。

委員からの意見

不登校の要因も多様化してきており、スペシアルサポートルームでは、一人一人に寄り添い個々に応じた学習や登校の在り方を模索していた。今後も、現場の状況を的確に把握しながら、児童生徒の個性に応じた対応がはかれることを望む。

スペシアルサポートルームとは

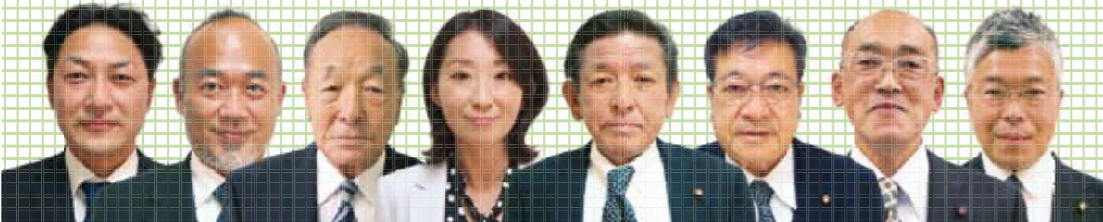
子どもたちの居場所であるとともに成長できる場所であり、通常の教室への復帰を前提としない。
 ・ 苦手な場面で相談する力や、自分の強みを知り生かす力を育むことを目指す場所。

スペシャルサポートルームの様子



産業厚生常任委員会

産業部、土木建築部、農業委員会、市民生活部、福祉保健部および福祉事務所の所管に関する事務



算本委員 美濃委員 沖元委員 長坂副委員長 沖委員長 吉野委員 平川委員 上本委員

主な活動内容

- 7月12日（水）現地調査についての意見集約
 - ・ 児童発達支援事業所「歩歩江田島」
 - ・ 共同生活援助施設「パラレル」
- 8月25日（金）イノシシ被害対策セミナー参加および講師と意見交換現地調査
 - ・ 旧ユウホウ紡績工場跡地
 - ・ 社会福祉法人江能福祉会
- 9月27日（水）意見集約
 - ・ イノシシ被害対策セミナー
 - ・ 社会福祉法人江能福祉会現地調査
- 10月13日（金）決算審査特別委員会付帯意見の確認
- 報告書の内容確認
 - ・ 所管事務調査報告書
 - ・ 決算審査特別委員会産業厚生分科会報告書

調査報告概要

イノシシ被害対策セミナー

調査の目的

本市は、イノシシ対策としてイノシシ捕獲数を増やしてきたが、被害は減少することなく深刻な問題となっている。今後、本市のイノシシ対策は「総合防除」を取り組み方針としている。その一環として開催するセミナーに参加し、取り組みや課題を調査する。

委員からの意見

堂山氏のセミナーは、イノシシの生態の理解を基に、具体的に効果的なイノシシ対策の講義である。市民への周知のため、積極的に市内各地域でセミナーを実施し、「総合防除」を進めてほしい。

市全域で「総合防除」による実施体制ができるよう、市は主導的に市民に働きかけ、進めるべきである。



イノシシ被害対策セミナーの様子

江能福祉会の取り組み

調査の目的

本市では、人口減少や少子高齢化、核家族化により、地域のつながりや支え合う力が低下している。地域共生社会の実現に向けた地域福祉の在り方を検討するため、江能福祉会の取り組みを調査する。

委員からの意見

断らない支援や孤立しない社会を目指す重層的支援体制整備事業に取り組んでいる。今後、より広い地域での取り組みと、他の事業所とも連携を取り、市全体の地域福祉の充実に期待したい。

今後人材不足が懸念される。各種団体が連携を深め、一層の全市的な取り組みが必要である。



江能福祉会現地調査の様子

議会の体制が改まりました

～それぞれの抱負～

10月31日に臨時会を開き、議長・副議長を選挙で選出したほか、議会の体制が改まりました。

市議選から2年が過ぎ、議員の任期も折り返しを迎えました。

新たな体制で、残りの2年も頑張ります。

産業厚生常任委員会

副委員長
うえもと ゆういちろう
上本 雄一郎



皆さまの声をしっかりと受け止めて、委員会で議論を尽くします。

委員長
ながさか みつこ
長坂 実子



委員の総力を結集し、委員会の力を発揮してまいります。

うえまつ ひでくに
上松 英邦



市民の声に耳を傾け、活力ある豊かな地域づくりに全力で頑張ります。

よしの のぶやす
吉野 伸康



市民の皆さまの安全安心、江田島市の発展のために頑張ります。

おき やすし
沖 也寸志



市民の皆さまが安全安心に暮らせるよう、尽力します。

おきもと ひろみ
沖元 大洋



どの世代も心豊かに暮らせる江田島市を目指します。

とimoto かたる
筧本 語



視察や研修で得た知識を皆さまの生活に還元できるように努力します。

みの ひでとし
美濃 英俊



体制一新。これからの問題点の解消になるような調査に努めます！



副議長
うえまつ ひでくに
上松 英邦

令和5年10月江田島市議会臨時会におきまして、副議長に就任いたしました。身に余る光栄であるとともに、責任の重さを痛感しております。新しく議長に就任された酒永議長をしっかりとお支えし、その責務を果たすべく一生懸命に努めてまいります。議員一丸となって江田島市の発展・住民福祉の向上のため取り組んでまいります。



議長
さけなが こうし
酒永 光志

令和5年10月江田島市議会臨時会におきまして、議長に就任いたしました。身に余る光栄であると同時に、その職責の重さに身の引き締まる思いでございます。地方自治の本旨である二元代表制の下、江田島市議会といたしましても、行政への監視機能を果たし、公正・公平な議会運営に努めるとともに、市民の皆さまの負託に応えるため、市政の充実と住民福祉の向上に向けて、誠心誠意取り組んでまいります。

総務文教常任委員会

副委員長
おかの かずまさ
岡野 数正



議論する議会！市民のための議会！議会改革を愚直に進めます。

委員長
ひらかわ ひろゆき
平川 博之



市民の皆さまに応えるため、しっかりと頑張つてまいります。

はまにし かねみつ
浜西 金満



持続可能な江田島市を目指すため定住促進支援事業に取り組みます。

やまもと かずや
山本 一也



委員会活動を通して、地域活性化のため取り組んでまいります。

ふるい としひこ
古居 俊彦



市民の負託にしっかりと頑張つていきます！

さけなが こうし
酒永 光志



皆さまの声を市政に反映できるよう全力で取り組みます。

議会広報 特別委員会

○ 長坂 実子
○ 宮下 成美

○ 岡野 数正
○ 美濃 英俊
○ 平川 博之
○ 山本 一也
○ 上本 雄一郎

みやした なるみ
宮下 成美



残り任期もしっかりと調査研究をし提案・提言をしていきます！

ひらもと みゆき
平本 美幸



市民の皆さまに寄り添い、江田島市の安全安心な暮らしを守ります。

議会運営委員会

◎ 委員長
○ 副委員長

○ 岡野 数正
○ 上本 雄一郎
○ 山本 一也
○ 平川 博之
○ 長坂 実子
○ 美濃 英俊

教えて！ 議会のこと

市議会ってどんなことをしているの？
わがまちのマスコットキャラクターたちから投げ掛けられる質問に議会広報特別委員会がお答えします！



みかぼん

学校やこども園、交流プラザを建てるため、市はお金をたくさん借りているって本当？

市からは昨年度末で約177億円の借金があると報告があったよ。でもね、その借金の一部を国が出してくれるので、実質的には約39億円の借金を少しずつ返すことになるんだ。



委員



みかぼん

そんなにたくさん！それで市の経営は大丈夫なの？

みんなのおうちと同じで、お金を借りるときには、市も家計状況をきちんと報告し、ちゃんと返せるのかチェックされるんだ。少しずつ借金を返しながら、毎年、余ったお金は貯金もしているから、安心していいよ。



委員



みかぼん

それにしても借金が多い気がするけど、将来は大丈夫かなあ。

将来のために整備しているんだよ。学校やこども園、交流プラザは、災害に強い安全な施設に集約しているんだ。古い施設を廃止することで、管理費用は少なくなるし、廃止した建物は貸したり、売ったりしているよ。



委員



みかぼん

そういうことかあ。いつまでも島に住み続けたいから心配だったんだ。

いつまでもみんなが安心して暮らせるように、何にどのくらいのお金を使うかチェックするのが私たちの仕事だからね。これからもみんなの声を議会に寄せてね。



委員

- 議会広報特別委員会
- 委員長 長坂 実子
 - 副委員長 宮下 成美
 - 委員 岡野 数正
 - 委員 美濃 英俊
 - 委員 平本 美幸
 - 委員 上本 雄一郎

上本 雄一郎

令和3年11月に始まった任期も折り返し地点を過ぎ、10月臨時会を経て、議会の体制も変わりました。議会広報特別委員会では、各号制作にあたり5回は会議を開きますが、この間、第70号で紙面構成を大きく変えて以降、委員一同が集まるたび、口角沫を飛ばす議論を重ねてきました。思えばそれは、よりよい広報の在り方に関する議論だったのみならず、よりよい議会の在り方を模索する時間だったのではないかと、今は受け止めています。今号の「市民の声」では、今夏の市民懇談会の模様を報告しています。市民の皆さまの声をさらに議会へと寄せていただきたい、またそれに応えられる議会でありたいと念じるところです。

編集後記